

総務省ではワイヤレス利用分野の国際標準化機関・団体 (ITU、3GPP、IEEE802等) における戦略的・継続的な国際標準化を進めるため、標準化機関・団体において標準化活動等を行う調査者及び我が国の標準化活動の基盤強化・プレゼンス向上に資する国際標準化会合を日本で開催するための活動を行う団体を募集します。

令和2年度における調査者及び会合招致団体の募集及び選定は、総務省から業務を請け負った(一社)電波産業会 (ARIB) が実施しますので、応募についてはARIBホームページ (<https://www.arib.or.jp/>) をご覧ください。

1. 調査者の募集

ワイヤレス利用分野※に関する国際標準化機関・団体 (ITU、3GPP、IEEE802等) における会合に出席し、標準化活動等及び活動報告を実施する調査者を下記区分で募集します。

- A) 調査先の国際標準化機関・団体やその下部研究委員会等における議長・副議長・エディター等の役職を務めている等、我が国の主導権・プレゼンスの維持・向上に資する者
- B) 標準化を推進する予定の者のうち、次の区分に該当する者
 - B-1) 標準化機関・団体に具体的な提案の提出等、主導的に提案や交渉、国際標準案の開発等技術的な作業を実施する予定があり、標準化機関の役職者や標準化活動の様々な側面の経験 (企画・事業部門、知財・法務の専門家、若手・スタートアップ、ユーザ系産業 (自動車、建設、医療、農業等)) 等それぞれの専門性を活かして総合的かつ効果的に標準化活動を推進するチーム
 - B-2) 標準化機関・団体に具体的な提案の提出等を予定しており、主体的に標準化を推進する予定の者
 - B-3) 新規標準化分野の推進に向け、情報の収集を目的として国際標準化機関・団体を対象として調査する者 (具体的な提案を予定する調査は区分B-2に該当)
 - B-4) 継続的な標準化活動の維持を目的とする者
- C) 今までの標準化活動の実績は乏しいが、今後継続して国際標準化活動を行うことが必要と思われる分野について継続して関与する意向を持つ者

※...電波有効利用成長戦略懇談会報告書 (平成30年8月) に示す2030年代に実現すべき7つの次世代のワイヤレスシステム (Beyond 5G システム、ワイヤレスIoTシステム、次世代モビリティシステム、ワイヤレス電力伝送システム、次世代衛星利用システム、次世代映像・端末技術システム、公共安全LTEシステム) 等

2. 会合招致団体の募集

我が国の標準化活動の基盤強化・プレゼンス向上に資する国際標準化会合 (ワイヤレス利用分野に限る。) を日本で開催するための活動を行う団体を募集します。

【対象会合】

原則として、2021年1月から2022年3月31日までに招致が決定される会合とし、以下の要件を満たすこと。

- ・ワイヤレス利用分野に関する国際標準化会合であること
- ・開催地が未決定であり、日本が開催地の候補となることが可能であること
- ・会合の規模が50人以上、参加者の国数が3カ国以上であること
- ・国、地方公共団体、大学、国立研究開発法人などが主催するものではないこと
- ・我が国からの具体的な提案課題があり、それを審議するプロセスにあること、または、他国からの具体的な提案課題があり、それを審議するプロセスで我が国に多大な影響が及ぶことが想定されること

3. 選定方法

請負主体が設置する有識者委員会の審議を踏まえて、調査者及び団体を選定します。

4. 想定スケジュール

2020年10月9日 (金) ~ 2020年10月30日 (金)	募集期間
2020年11月 ~	決定・契約
契約後 ~ 2021年3月	調査等の実施
2021年3月	調査結果の報告

5. 経費等の支給

調査又は会合招致に必要な旅費、会合参加費用等の経費を、規定に基づき支給します。